

自見内閣府特命担当大臣（地方創生） 記者会見要旨

日時：令和5年12月26日（火） 16:58 ～ 17:01

場所：首相官邸ロビー

（冒頭発言）

地方創生担当大臣として報告します。

先ほど、規制改革推進会議と合同で、第61回国家戦略特別区域諮問会議を開催いたしました。会議では、「区域計画の認定」について、2区域3事業をご了承いただきました。

また、「国家戦略特区において取り組む規制・制度改革事項等」として、今後取り組む計22項目の規制・制度改革事項を取りまとめました。

続きまして、「地域・社会課題の解決に向けた今後の特区の取組」につきましてご審議いただきました他、鈴木金融担当大臣から「金融・資産運用特区」についてご説明いただきましたところであります。

有識者議員の皆様からも、各議題について、前向きに検討するようご意見を頂戴しています。

議事のうち、「地域・社会課題の解決に向けた今後の特区の取組」についてであります。地方創生担当大臣として、少子化・高齢化、そして、人手不足、過疎化など厳しさを増す経済社会環境の中で、地域が抱える課題、お困りごとについても、しっかりと向き合わなければならないとの問題意識のもと、新たな取組を進めることについて、ご審議いただいたものであります。

現在、加賀市・茅野市・吉備中央町で実施している「デジタル田園健康特区」の取組を横展開し、健康・医療分野以外にも地域が抱える深刻な課題に対応すべく、デジタルを活用した自治体間連携による新たな特区の取組を「地域課題解決連携特区」、通称「連携“絆”特区」として、発掘・支援してまいります。

本件につきまして、先ほど総理から具体的な作業を早急に進めるようご指示をいただきましたため、明日27日から全国の地方公共団体を対象に、地域・社会課題の解決に向けた規制・制度改革の提案募集を開始いたします。

寄せられた規制・制度改革の提案は、国家戦略特区ワーキンググループで議論を進め、新たな取組の具体的なあり方について、来年6月の国家戦略特区諮問会議において報告することを目指します。

全国から、地域課題の解決に向け、地域の熱意ある提案が寄せられることを期待しています。

私からは以上です。

(質疑応答)

問： 派閥のことについて1問お伺いさせていただきます。

派閥の方に退会届を出されて、その後に、派閥の方が受理をしないというような一部報道ありますけども、改めてそこへの受け止めはいかがでしょうか。

答： 繰り返しになりまして恐縮でございますが、私の場合、参議院の志師会に所属をしておりますので、中曽根会長からご了解をいただいて、その後、しかるべく幹部にお話をさせていただいたということでございます。

(以上)